



新年度の始まりにあたって

校長 陶山 裕史

この春に赴任いたしました陶山です。

14年ぶりの隠岐高校での勤務ですが、以前と変わらない美しい風景が、懐かしく昔を思い出させてくれます。108年目を迎えた隠岐高校の伝統をしっかりと守りつつ、生徒がこれからの新しい時代を生き抜いて行ける力を身につけることができるよう、教育活動を行なって行きたいと思っております。

さて、本校の本年度の学校経営方針は右に示したとおりです。全教職員がこれらの目標に向かって精一杯取り組んで参ります。生徒の皆さんにも十分に理解して頂き、保護者の皆様、地域の皆様にもご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本年度は、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大により、波乱のスタートとなりました。様々な活動が制限される中ではありますが、この一年間でやらなければならない事、できる事を粛々と進めて参ります。

学校経営方針に示しましたとおり、本校に課せられた大きな使命として考えていることは、これからの隠岐の島を支え未来を切り開く人材を育成することです。地域の担い手としてだけではなく、卒業後も隠岐の島の内外から支えることのできる力を持った人材、未来を切り拓き世界で活躍できる人材を排出していかなければなりません。そのために地域の方々と協働しながら教育活動を進めて参りたいと思っております。

慶應義塾大学の安宅和人教授は、著書「シン・ニホン」の中で、未来の予測不可能性について、「未来の本当の姿など誰も予測できない。」と述べています。「技術の進展のたまかな方向性は見える。ただしこれが生み出す未来は予測できない。産業はそこにある課題とその課題を解決する技術、方法の掛け算で生まれる。実現するアプローチが少し変わるだけで全く違う世界がやってくる。」と言います。世界はこれからの変化の激しい時代にあって、向き合う課題を前向きに受け止め、粘り強く立ち向かって行ける人材を求めています。安宅教授は「未来は目指すものであり創るものだ。」とも言っています。変化に対応できるだけでなく、新たなものを創造できる人材の育成が求められています。本校においても、そのような人材の育成に努めて参りたいと思っております。

今後、社会の情勢は先が見えずどのように変化していくのかわかりません。生徒の皆さんが「コロナウィルスの影響で何もできなかった。」という一年にはしたくありません。「自分の将来や未来のことをじっくりと考え、主体的に行動できるようになった。」と思える一年になるよう努めていきたいと思っております。

校訓

健(健やかにして)・智(智を以って)・拓(未来を拓く)

この校訓の伝統を受け継ぎ、教育目標を次のように掲げています。

教育目標

健康で、確かな学力を持ち、自立する生徒を育成する。
～現在と未来の隠岐を支える人材の育成～

本校の使命

1. 地域と協働しながら、地域や社会の未来を切り拓く人材を育成する
2. 隠岐地区の普通科・商業科併設高校として、生徒一人一人の進路希望を実現させる
3. 魅力ある学校づくりを推進し、社会に開かれた教育活動を実践し、隠岐地区の活性化に寄与する

本校のめざすがた

1. 学校像

- (1) 生徒が安全に安心して学ぶことができる学校
- (2) 生徒・教職員が積極的に教育活動に取り組む学校
- (3) 生徒・保護者、地域から信頼される学校

2. 生徒像

- (1) **健** 自他の人権を尊重し、豊かな人間関係を構築できる、心身ともにたくましい生徒
- (2) **智** 自分の目標に向かって、主体的に学び、確かな学力を身につける生徒
- (3) **拓** 視野を拡げ、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓いていく生徒

3. 教職員像

- (1) 高い人権感覚を有し、安心・安全な学校づくりを推進する教職員
- (2) 自己の資質・指導力向上をめざし、学び続ける教職員
- (3) 「チーム隠岐高」の一員として協働し、互いに支え合う教職員

これらを達成するために、本年度の重点目標を以下の通り定めました。

令和2年度重点目標

1. 人権尊重の意識を高め、安心して学べる集団づくりを行う
2. 確かな学力を身につけさせ、生徒の自己実現を支援する
3. 「教育魅力化事業」を通して、地域と連携し信頼される学校づくりを行う

卒業式

3月1日(日)令和元年度卒業証書授与式を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、卒業生、保護者、教職員のみでの出席となりました。普通科48名、商業科23名の卒業生に学校長から、卒業生にむけて「自分らしい人生のストーリーを描いてほしい」という、はなむけの言葉が贈られました。式終了後は、各クラスで最後のホームルームを行い、卒業生一人ひとりが想いを述べ、担任・副担任がメッセージを送りました。



呼名中の様子



卒業証書授与

ブランドとして売り出すため、JA、島根大学、隠岐の島町内の農家の方々にご協力いただき試験栽培に取り組んで来ました。

全51プロジェクト113名が参加した島根県大会で学校部門代表として選出され、48プロジェクト99名の高校生が参加した全国大会では、学びのロールモデル8チームに選ばれました。その中でオーナーシップ(主体性)が評価され、【ベストオーナーシップアワード】を受賞しました。

「隠岐藻塩シイタケプロジェクト」の活動は、新2年生のチームが引き継ぎ、ジオパーク研究で取り組んでいます。



生徒が栽培した藻塩シイタケ



賞状と盾の授与

令和元年度離任式・終業式

3月24日(火)3学期終業式および離任式を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、ZOOMというアプリを活用し、各教室のプロジェクトに投影する形で行いました。校内Wifiを活用した初めての試みでしたが、大きなトラブルもなく行うことができました。学校長は今年度締めくくりの言葉として、「ピンチをチャンスに変えていこう」と話しました。



オンライン参加の様子



藻塩シイタケプロジェクト

2期メンバー達

第7回ナレッジ・イノベーション・アワード

高校生アイデア部門優秀賞受賞

稲葉陽和さん(当時1年生)が「未来の“私の”仕事を考える」をテーマとした上記の大会に応募し、全3,414通中7通の優秀賞に選ばれました。稲葉さんは、「コントロール治療」と題し、人体の機能不全箇所ICチップを埋め込んで電気信号を送り機能回復を目指すという提案をしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため大阪府内での発表は中止となり、動画送信による選考となりました。

稲葉さんと授与された賞状



令和2年度新任式・始業式

4月8日(水)陶山校長先生をはじめ、新任者9名をお迎えして、新任式並びに始業式を行いました。



陶山校長先生



8名の教職員

令和2年度入学式・入寮式

令和2年度入学式を4月9日(木)に挙行了しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、式の規模を縮小し、座席の間隔を十分にとった式となりました。

全国高等学校マイプロジェクトアワード出場

山下夏希さん、梶村奈観子さん(当時2年生)が、ジオパーク研究で取り組んできた「隠岐藻塩シイタケプロジェクト」の活動をチームの代表として、オンラインで全国大会に参加しました。「隠岐藻塩シイタケプロジェクト」は、藻塩を散布し育てたシイタケを新たな隠岐の



入学者呼名の様子



代表生徒宣誓の様子